

夏季せん定実施後の昼温及び夜温が施設栽培温州ミカン樹の発芽，開花に及ぼす影響

[要約] 温州ミカンの施設栽培で，秋季の昼温あるいは夜温が低いと加温後の着花は多くなる。せん定時期が早いと昼夜温の高低にかかわらず着花は多い。

長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
----------------	----	----	----	-----	----	----

平成8年度長崎県果樹試験場業務報告

#### [背景・ねらい]

温州ミカンの休眠機構を明らかにするため，夏季せん定実施後の昼温及び夜温と発芽，開花との関連を検討した。なお，いずれの処理も加温後ビーエー液剤 400倍液を散布した。

#### [成果の内容・特徴]

- ① 9月 6日及び 9月20日せん定樹では秋季昼温が低いほうが，全節数当たり着花率，発芽節数当たり着花率が高く，母枝当たり着花数が多い（表1）。
- ② 8月 8日及び 8月22日せん定樹では，昼温が異なっても発芽節数当たり着花率はほぼ同じである（表1）。
- ③せん定時期が同じ場合，夜温が低いほうが，発芽節率，全節数当たり着花率及び発芽節数当たり着花率が高く，母枝当たり着花数が多い（表2）。
- ④秋季の気温が同じ場合，せん定時期が早いほうが，発芽節率が高く，全節数当たり着花率及び発芽節数当たり着花率も高く，母枝当たり着花数が多い（表1，2）。

#### [成果の活用面・留意点]

着花を確保するため，ビニール除去等により秋季気温をできるだけ低く維持する。

[具体的データ]

表1 秋季の昼温と発芽及び着花

処 理	せん定 時 期 (月.日)	母枝の 発芽期 (月.日)	発芽節率 (%)	全節数当たり 着 花 率 (%)	発芽節数当たり 着 花 率 (%)	母枝当たり 着 花 数	直花率 <sup>2</sup> (%)
高温区 <sup>y</sup>	8. 8	8. 15	59.4	73.8	120.4	6.6	76.5
	8. 22	8. 28	38.3	39.4	103.9	3.4	52.9
	9. 6	9. 11	14.4	4.2	30.2	0.3	57.1
	9. 20	9. 28	11.3	0.0	0.0	0.0	-
低温区 <sup>x</sup>	8. 8	8. 15	39.2	46.6	121.8	4.1	97.8
	8. 22	8. 28	18.2	16.3	100.0	1.3	73.9
	9. 6	9. 11	16.2	12.4	89.3	1.0	61.4
	9. 20	9. 28	2.7	2.3	75.0	0.2	100.0

<sup>2</sup> 全花数に対する直花数の割合

<sup>y</sup> 10月13日～12月13日 (最高:27.9℃, 最低:9.0℃, 平均:15.5℃), 12月25日加温開始

<sup>x</sup> 10月13日～12月13日 (最高:17.5℃, 最低:7.2℃, 平均:12.0℃), 12月25日加温開始

表2 秋季の夜温と発芽及び着花

処 理	せん定 時 期 (月.日)	母枝の 発芽期 (月.日)	発芽節率 (%)	全節数当たり 着 花 率 (%)	発芽節数当たり 着 花 率 (%)	母枝当たり 着 花 数	直花率 <sup>2</sup> (%)
高温区 <sup>y</sup>	8. 9	8. 15	45.6	23.1	51.8	1.8	15.0
"	9. 5	9. 11	21.2	0.0	0.0	0.0	-
低温区 <sup>x</sup>	8. 9	8. 15	61.7	51.3	83.5	4.1	15.8
"	9. 5	9. 11	24.4	3.2	15.6	0.3	6.7

<sup>2</sup> 全花数に対する直花数の割合

<sup>y</sup> 10月12日～11月 8日 (最高:25.0℃, 最低:15.0℃)

11月 9日～12月10日 (最高:20.0℃, 最低:10.0℃), 1月 1日加温開始

<sup>x</sup> 10月12日～11月 8日 (最高:25.0℃, 最低:10.0℃)

11月 9日～12月10日 (最高:20.0℃, 最低: 7.0℃), 1月 1日加温開始

[その他]

研 究 課 題 名 : ハウスミカンの樹勢強化と休眠機構の解明

予 算 区 分 : 県 単

研 究 期 間 : 平成8年度 (平成6年～9年)

研 究 担 当 者 : 濱口壽幸, 中里一郎

発 表 論 文 等 : 平成8年度 長崎県果樹試験場業務報告。